



九州大学がアジアの高校生を招いて最先端科学を指導するサマープログラムを実施

九州大学工学部では、留学生対象の英語による学士課程の国際コースを設置しています(※1)。今回、第1回「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」(※2)の採択を受け、QUEST「九州大学最先端工学・科学探検プログラム」を実施するにあたり、インド、ベトナム、インドネシアの3カ国の高校から理科、数学に秀でた高校生10名を招待します。滞在期間中、高校生は九州大学で最先端工学科学入門講義「究極のエコカー!?水素燃料電池自動車にせまる」や「無限の分子設計が切り拓く新しい有機発光ダイオード」、「身の回りのソフトマテリアルの化学」、「地震国日本における最新の耐震技術」などの最先端の科学を学ぶ特別講義を英語で受講し、水素ステーション(写真左)など、学内の代表的な水素エネルギー国際研究施設を訪問します。その他、安川電機「ロボット村」(写真右)やトヨタ九州自動車工場、TOTOミュージアムなど、福岡県が世界に誇る最先端技術を有する企業の工場や展示施設を訪れると共に、太宰府、博多の寺院などの福岡県内の歴史文化財等も見学します。

九州大学の「水素エネルギー技術」と「有機光エレクトロニクス高度技術」は、特に世界に誇れる最先端工学科学技術として進化し続けており、世界中から注目されています。今回のサマープログラムでは、アジアの優秀な高校生に本学の最先端研究について知ってもらい、海外の高校での知名度を上げ、更に優秀な留学生の入学に繋げることを目的としています。

受入期間は、2016年7月10日～19日までの10日間を予定しています。

(※1)九州大学では、文部科学省「国際化拠点整備事業(グローバル30)」の採択を受け、国内の大学の中でいち早く、平成22年の10月に工学部と農学部の2つの学部で英語のみで学士号が取得できる「学士課程国際コース」を設置しました。工学部には現在「応用化学コース」、「建設都市工学コース」、「機械工学コース」、「航空宇宙工学コース」の4コースが設置されており、平成29年10月には「電気情報工学コース」が新たに加わります。現在、アジアを中心に世界14カ国から63人の留学生が、工学部の正規学生として在籍しています。

(※2)科学技術振興機構(JST)が実施する「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」は、産学官の緊密な連携により、優秀なアジア地域の青少年が日本を短期に訪問し、未来を担うアジア地域と日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目指します。そしてアジア地域の青少年の日本の最先端の科学技術への関心を高め、日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材の育成を進め、もってアジア地域と日本の科学技術の発展に貢献することを目的としています。



九州大学「水素ステーション」



安川電機「ロボット村」

【お問い合わせ】九州大学工学系国際交流センター 田村
電話:092-802-3872 FAX:092-802-3874
Mail: mikatamura@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp